



マツダ病院だより

# ひまわり

70



## CONTENTS

- 新年のご挨拶
- マツダ病院糖尿病患者友の会「三ツ矢会」の活動紹介 / 第23回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in東京
- 「第6回医療現場におけるKAIZEN研修会in広島」の開催報告 / 慰霊法要を執り行いました / 安芸地区医師会主催 第39回安芸医学会が開催されました
- 地域連携センターの活動紹介
- 地域のドクター便り  
「社会福祉法人 広島厚生事業協会 府中みくまり病院」
- 外来診療のご案内

### マツダ病院理念

マツダ病院は温かい思いやりの心で最新・最良の医療を提供し社会に貢献します

### 基本方針

1. 患者さんの立場になって、心のコもった医療を提供します
2. 医療の安全を徹底し、信頼される病院を目指します
3. 地域の中核病院として、近隣医療機関との連携を図り、地域医療の向上に努めます
4. 最新・最良の医療を提供するため、常に研鑽に励みます
5. 自主・自律(立)の精神のもと、一人ひとりが生き生きとした、働きがいのある病院を目指します
6. 医療資源の活用を図り、健全な経営の確保に努めます



# 卯年 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。新年のスタートにあたり、皆様に年頭のご挨拶を申し上げます。世の中は昨年も新型コロナウイルス感染症一色の1年でした。その中で、昨年2月に北京で冬季オリンピックが開催され、皆さんは日本人をはじめとする選手の活躍に感動されたと思います。また、年末にはサッカー・ワールドカップが開催され、皆さんはひと時でもコロナを忘れて試合に興奮し、感動したことは、沈みがちな時勢の中で一条の光となったと思います。

さて、2023年の干支は「癸卯(みずのとう)」です。「癸卯」は、「寒気が緩み、草木の芽生えを促す年」となると言われています。コロナ禍以降、停滞し続けていた世の中に、そろそろ希望



マツダ株式会社 マツダ病院  
院長 たむら とおる 田村 徹

が芽吹く春がやってきそうです。ただ、今まで培ってきた自身の力が試される年であることも示唆しており、最後まで諦めずに希望を持ち続けながらも、無理をしすぎないことが道を拓く鍵になりそうです。

先ほども申し上げましたが、昨年も新型コロナウイルス感染症により、医療界全体に院内感染や医療崩壊のリスク、一般患者数の減少、病院経営の悪化など、回避できない数多くの問題が続きました。そのような中、マツダ病院では180名以上の入院患者の皆様の治療を行うとともに、府中町の住民の皆様と医療従事者への新型コロナワクチン接種を行いました。残念ながら、昨年末より第8波が襲来しているようですが、コロナ収束に貢献するため、引き続き職員全員

で感染対策をしっかり行いながら、積極的に患者の皆様を受入れ、治療を行って参ります。一刻も早くコロナウイルスの活動が収まり、感染症分類が2類から5類へ変更されることを期待しています。

昨年、広島県は「高度医療・人材育成拠点基本構想」を公表しました。この構想は、少子高齢化による医療・介護ニーズの変化や医師の偏在など、広島県が抱える医療面の問題や課題を解決するため、8年後に新たに広島駅北側に新病院を整備するとともに、地域完結型医療を実現するため、機能分化と連携を促進する目的で検討されたものです。マツダ病院も地域全体でより良い医療サービスを提供するという役割を果たすため、私たちが考える病院の将来像を前面に出しつつ、構想の取りまとめに参画しています。

現在、私たちは、2023年度から始まる3か年を対象とした中期経営計画策定プロジェクトを進めています。マツダ病院が、長い歴史の中で蓄積した救急などの急性期機能の強みと、健診をはじめとしたマツダ(株)企業立病院の独自性を維持・発展しつつ、更なる強みを獲得するため、リハビリなどの回復期機能の拡大等

も視野に入れることを検討しています。マツダ病院は、今後も自らの判断で自らのありたい姿、あるべき姿を描き、地域の皆様に愛され選ばれ続けるために進化して参ります。

2020年から拡大した新型コロナ感染症は今後も続き、マツダ病院にとって今年も困難な航海を強いられる可能性があります。病院理念の実現を追求し続け、職員一丸となって地域医療の向上に努めていく所存です。本年も変わらぬご厚誼のほど、よろしく申し上げます。最後になりますが、皆様とご家族のご健勝とご活躍を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。



## マツダ病院糖尿病患者友の会 「三ツ矢会」の活動紹介



糖尿病内科主任部長 辻 英之

先日、コロナ禍で中断しておりました『三ツ矢会』の活動を再開し、皆様にも喜んでいただきました。今回は歴史のある三ツ矢会の活動を紹介させていただきます。

「三ツ矢会」の歴史は長く、1984年4月、現在は府中町で開業されています天神川なかむら内科の中村邦彦先生がマツダ病院在籍中に結成されたマツダ病院糖尿病患者友の会の名称です。

中村先生の退任後休止しておりましたが、2008年に私、辻が再開し新生「三ツ矢会」として継続してきました。私にとっては3つ目に結成した患者友の会でもあります。

毛利家の家訓の逸話「三本の矢」をもとにした名前も素敵だと思って気に入っています。

三ツ矢とは、糖尿病治療は「食事療法」「運動療法」「薬物療法」の3つのどれを欠いても成り立ちません。また、「患者様本人」「患者家族」「医療スタッフ」が力を合わせて初めてより良く治療が達成出来るという思いもありました。

現在は、24人の患者会員と病院スタッフで運営しています。コロナ禍前は、日本糖尿病協会雑誌「さかえ」を配布に加えて、年2回の新聞発行、講演や食事会の開催、糖尿病協会県支部のウォークラリー（広島城周辺を2-4kmほど歩く）への参加など活発な活動をしておりました。

コロナ禍によって、活動の制限を余儀なくされていましたが、今年11月19日約2年ぶりに患者会員さんとスタッフが対面し、「糖尿病とサルコペニア」というテーマで医師、管理栄養士、理学療法士による講義を行い、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

当院糖尿病内科には新しく岸本瑠衣先生が着任され、そのパワーももらって活気のある友の会活動を行っていきたいと思っています。

糖尿病治療は決して孤独な苦行ではありません。たくさんの仲間達とともに楽しく、そして人生100年時代を糖尿病合併症に苦しまないでいられる糖尿病ライフを過ごせるよう我々スタッフはお手伝いしたいと思っています。

「三ツ矢会」はマツダ病院に通院中の患者様はどなたでも入会できます。興味を持たれた方は内科外来受付、または主治医の先生に問い合わせてみて下さい。



「三ツ矢会病院」スタッフ

## 第23回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in東京

2022年11月18、19の2日間、東京におきまして、第23回フォーラム「医療の改善活動」全国大会が開催されました。当院からは、昨年度のQC活動報告会で最優秀賞を受賞した二つのチームが下記のテーマで改善活動の報告を行いました。「整形外科外来リハビリにおける非算定件数の低減」リハビリテーション科  
「医療機器管理の適正化」画像診断科  
全国から活発な改善活動の報告があり、とてもいい刺激を受けることができました。今後の業務改善活動に活かしていきます。



この研修会は、広島県の医療機関における改善活動普及のため、2017年から県立広島病院、市立三次中央病院、マツダ病院が輪番で主催していますが、2020年度からは、広島県医療の改善活動推進協議会の後援を受け開催しています。第6回は当院が主催を務め、10月22日(土)にふれあい会館において開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、今回も会場定員を大幅に減少し、WEB配信も行いました。



「5Sの魅力と5Sのポイント」と題した講演のほか、広島記念病院、安佐市民病院、吉島病院、呉医療センター、中電病院、愛媛県立中央病院の6施設から改善事例の発表があり、活発な質問・意見交換が行われました。

2023年度は『医療の改善活動』全国大会が広島県で11月17日(金)、18日(土)の2日間にわたって開催されます。多くの方のご参加をお待ちしております。

## 慰霊法要を執り行いました

12月9日、院長をはじめ医師、看護師、薬剤師などの各部門代表が列席して執り行いました。

この法要は、1年間に当院でお亡くなりになられた方々の慰霊として毎年12月に行っております。



## 安芸地区医師会主催 第39回安芸医学会が開催されました

12月4日(日)ふれあい会館にて「安芸医学会」が開催されました。

前年と同じで感染対策の観点から現地とリモート(Web)での開催で行われました。

この医学会は安芸地区の病院、診療所、介護施設、消防本部等から医師・看護師をはじめとした多くの医療職・救急救命士等が研究発表や事例紹介を行う場として開催されており、今回で39回目となりました。演題38題中8題、発表いたしました。

### 【特別講演】「小腸内視鏡診療の最前線」

広島大学大学院 医系科学研究科  
消化器内科学教授 岡 志郎 先生





# 地域連携センターの活動紹介 その8



## 対話、これからの「地域連携」について ～オンラインで繋がる退院支援～

コロナ禍で退院支援カンファレンスにオンラインを活用することが少しずつ増えています。オンラインを活用することで、多忙な医師や遠方の家族も参加しやすくなるなどのメリットがあります。今回、ケアマネジャー、訪問看護師は病院会場に集合いただき、在宅医師はオンラインで参加していただく形でのカンファレンスを行いましたのでご紹介します。

——先日の退院前カンファレンスについて、感想をお願いします。また、印象に残っていることはありますか。

倉田▼患者さんは、大腿骨頸部骨折で入院された年配の方で、心疾患もあるため手術を見送りリハビリを行っていましたが、退院後は自宅での生活を希望されていました。また同居の家族に迷惑をかけることを心配されていました。また同居の家族も受け入れたい気持ちはあるけれど、介護等に自信が持てず不安な様子でした。

三保▼カンファレンスで具体策を話し合い退院日程が決まった時には患者さんもご家族も明るい表情をされていました。きつと、安心されたのだと思います。特に印象的だったのは、画面に映る在宅の先生と笑顔で手を振り合っていたシーンですね。

平本▼僕もそのシーンが一番印象に残っています。あの瞬間、そこにいたみんなが笑顔になり、家族も喜んでるように見えました。

倉田▼みんなが家に帰ってあげたいという気持ちで療養指導（病棟チーム）などを何度も行い、それを在宅の先生や訪問看護師さんと共有し、繋ぐことのできたカンファレンスだったと思います。退院された後も訪問看護師さんから家での様子について教えてもらって安心しました。

平本▼入院当初、家に帰りたいと聞いた時は正直難しいと思っていましたが、本人の希望通り家に帰ることができて本当に良かったです。

小若女▼同感です。カンファレンスでは普段よりよく話されていました。患者さん、家族にとって安心感を与えることのできたカンファレンスだったと思います。

——多職種カンファレンス、今後に向けて「できること」、「したいこと」などありますか。

三保▼オンラインではありませんが、主治医同士が繋がることに意味があると思います。これからお願いする在宅の先生に直接情報を伝えられ、反応があることで患者さんやご家族に、病院と在宅医が繋がっていることが伝わり、より安心感につながるなど非常に有意義だと思います。

小若女▼入院中、ご家族に状態の変化を見ていただくことや、退院後の訪問リハビリのスタッフとオンラインで繋がれたらと思いますね。

倉田▼日常的に患者さんのケアを行い、患者さんの思いもよく知っている病棟スタッフの頑張りがあったからこそ、うまく在宅へ



地域連携センター 主任看護師 倉田 尚子  
循環器内科 部長 三保 成正  
作業療法士 小若女 翔太

▼病棟の心不全療養指導チーム



病棟看護師 平本 智晴



繋ぐことができるのだと思います。安心して帰ってもらえるよう、今まで以上に多職種で連携し協力していきたいです。

——オンラインの活用と可能性について。

倉田▼オンラインでの退院前カンファレンスははじめてでしたが。

3人▼はじめてでした。

平本▼いつもと違い、緊張しました。今後は面会などにも活用していけたらと思います。

倉田▼オンラインでのカンファレンスはWEB案内や機器のセッティングなど、対面とは違った環境作りが必要で、準備していても音声や画面トラブルなど予期せぬことが起こったりします。過去には途中からの音声が届かず、音声のみ電話を使って行ったこともありましたが、患者さんからは「よく聞けたよ」と言ってもらえましたが、終了するまでは気が抜けません。私たちのスキルアップも必要です。

小若女▼在宅の先生はオンラインの方が良いのでしょうか。

倉田▼はい。そういう声をよく聞きます。診療があるなか会場に来てもらうのは難しかったのですが、最近に参加していただけのケースが増えました。

三保▼確かにこれまで退院前カンファレンスに参加したことがありますが、先生とお会いしたことはなかったですね。

——最後にひとこと。

倉田▼地域と病院を繋ぐカンファレンスをもっと増やしたいですね。準備は大変ではありますが、これからもよろしくお願いします。

平本▼オンラインではこんなことができるんだと他のスタッフにも経験して欲しいです。また日頃から行っている療養指導が在宅に繋ぐために大切なことだと改めてわかったので、より一層頑張りたいたいと思いました。

小若女▼退院前カンファレンスは患者さんの「できること」を伝える大事な場だと思います。退院後、支える家族の不安な気持ちに寄り添い、リハビリスタッフとしてしっかり伝えていきたいです。

三保▼そうですね。いろいろな可能性が有りますね。これから患者さんには、退院後の生活が始まります。一人一人、事情も環境も違います。こういったカンファレンスを通して対話することで見えてくる不安や問題を少しでも解消して、ご自宅で安心して過ごして欲しいと思っています。



## 社会福祉法人 広島厚生事業協会 府中みくまり病院

院長：栗原 寛治

住所：広島県安芸郡府中町みくまり3丁目1番11号

電話：082-281-2281

診療科：心療内科・精神科・内科(入院患者対象)  
・歯科(入院患者対象)

診療時間：月曜日～日曜日：9:00～12:00(受付は8:30～11:30)  
ただし日曜日は第1・第3日曜日のみ

休診日：第1・第3以外の日曜日、祝祭日、  
年末年始(12月30日～1月3日)

### ● 先生の専門分野についてお聞かせください。

認知症等の器質性精神障害、統合失調症、気分障害(躁病、双極性障害、うつ病等)、不安障害等の神経症性障害、等の精神疾患。

### ● 先生が日頃、心がけていることを教えてください

当院の基本理念は「精神医療と福祉の理想を追求しよう」「すべての人を尊重しよう」のふたつです。患者さんとその御家族を主役として、人権を守り、意思を尊重しつつ、安全で質の高い医療を提供することを心がけています。

### ● 地域連携についてどのようにお考えですか？

左記の、日頃心がけていることを実現するためには、当院単独では不可能です。地域の医療機関や社会福祉資源と密に連携することが必須です。地域でがっちりとスクラムを組み、患者さんの社会復帰と社会生活の援助に努めて参りたいと存じます。

### ● 最後にマツダ病院に要望することは？

地域の基幹病院として、有難く、非常に心強く思っております。当院の入院患者さんを紹介させていただく際、当日受診ホットラインでも時間外でも丁寧に対応していただいています。入院させていただいた患者さんの病状についても詳細に御報告、御教授いただき、感謝申し上げます。今後ともよろしく願い申し上げます。



# 外来診療のご案内

(令和4年10月1日現在)

		月	火	水	木	金		
内科	午前 循環器・消化器・糖尿病・呼吸器	初診	1診	岸本(糖)	富本(循)	洪(消)	神原(呼)	高橋(呼)
		2診	三保(循)	岩崎(循)	神原(呼)	富本(循)	井原(呼)	
		3診	住居(循)	須澤(循)	岩崎(循)	山本(循)	山本(循)	
		4診	大成(呼)	岸本(糖)	辻(糖)	大成(呼)	辻(糖)	
		5診	須澤(循)	井原(呼)	住居(循)	長沖(消)	長沖(消)	
		6診	福原(消)	黒田(消)	三保(循)	岸本(糖)	黒田(消)	
		7診	平田(消)	田村(消)	平田(消)	福原(消)	洪(消)	
		8診	高橋(呼)					
	午後 専門外来		黒田(消)	山本(循)	田村(消)	住居(循)	岸本(糖)	
			辻(糖)	大成(呼)	白神(内)	辻(糖)		
TEL 082-565-5024 ※午後は再診のみ								

小児科	午前	安井 石川*	安井	泉	安井	安井
	午後	安井	安井	泉		安井
TEL 082-565-5026 診療受付時間(11:30まで) * 石川医師は第1・第3月曜日のみ(予約制) 予防接種・乳児健診は予約制となります。						

外科	午前	1診	赤木	栗栖	赤木	栗栖	栗栖
	2診	羽田野	林谷	林谷	羽田野		
TEL 082-565-5027 ※午後は検査、手術又は特殊外来							

ハイブラック* 外来	午後				権丈	
*ハイブラックHIPRAC外来・・・高精度放射線治療外来 ※第1・第2・第3木曜日(14:00~16:00)のみ予約制						

脳神経 外科	午前	1診	川本	尾上	手術	川本	川本
	2診	尾上	森岡	森岡		尾上	
	午後	手術	検査	検査	血管内治療	検査	
TEL 082-565-5122 診療受付時間(11:00まで) ※水曜日は手術のため休診							

麻酔科	午前	城山	権	難波	権	城山
TEL 082-565-5605						

		月	火	水	木	金	
整形外科	午前	1診	月坂	月坂(初)	菊川(初)	菊川	月坂
		2診	露口(初再)	露口	武田(初再)	渡邊(初再)	露口(初再)
		3診	菊川	松原(初再)	田中	田中(初)	田中(初再)
		4診	渡邊(初再)			松原(初再)	武田(初再)
	午後	手術	手術	手術	手術	手術	
	骨粗鬆症外来 (予約制)				田中*		
TEL 082-565-5030 診療時間:午前(11時まで) *骨粗鬆症外来(予約制)・・・13:00~15:00							

皮膚科	午前	大塚 豊島	大塚 豊島	大塚 豊島	大塚 豊島	大塚 豊島
	午後	大塚 豊島	手術	大塚 豊島	手術	大塚* 豊島*
TEL 082-565-5033 診療時間:午前(11時まで)・午後(14時まで) 第3水曜日は休診 *第1・第3は大塚医師、第2・第4は豊島医師						

泌尿器科	午前	1診	甲田	柴田	甲田	甲田	甲田
		2診	柴田		柴田		柴田
		3診	松原		松原		松原
	午後	ESWL 検査	手術	ESWL 検査	手術	ESWL 検査	
TEL 082-565-5032 診療受付時間(11:00まで) ※火・木曜日は再診のみ							

眼科	午前	1診	清水	清水	清水	清水	清水
	2診			多田	多田		
	午後	手術	清水	手術	多田	清水	
TEL 082-565-5034 診療受付時間(11:00まで)							

耳鼻 咽喉科	午前	1診	福入		福入		福入
		2診	勝部	担当医	勝部	担当医	勝部
	午後	1診	福入		検査		福入
		2診	勝部	手術	手術		勝部
TEL 082-565-5035							

精神科 心療内科	午前	萬谷(初)	萬谷	萬谷	萬谷	萬谷(初)
TEL 082-565-5037 ※月・金曜日は初診(完全予約制)のみ						

歯科 口腔外科	午前	坂本 信本	坂本 信本	坂本 信本	坂本 信本	坂本 信本
		広大医師 嚙下 有田				
	午後	坂本 信本	坂本 信本	坂本 信本	坂本 信本	手術
TEL 082-565-5036 診療受付時間(11:30まで) ※午後は予約、急患のみ ※火曜日午前・金曜日午後は手術日です						

●担当医の(初)は初診の日になります。

## 受付時間

午前8:15~11:30

(整形外科、脳神経外科、皮膚科、  
泌尿器科、眼科は8:15~11:00)

午後12:45~14:00

(歯科口腔外科は15:00迄)

## 休診日

原則として、土、日、祝日、年末年始

## アクセス

JR ご利用の場合 ▶ JR 向洋駅より徒歩3分

バスご利用の場合 ▶ 向洋駅前・マツダ本社前 下車徒歩1分

お車をご利用の場合 ▶ 駐車場約140台

広島方面(広島駅)から県道164号線を海田方面に約4km  
海田方面(大正交差点)から県道164号線を広島方面に約3km



マツダ株式会社  
マツダ病院



〒735-8585 広島県安芸郡府中町青崎南2番15号

TEL.082-565-5000(代表)FAX.082-565-5138

official site : <http://hospital.mazda.co.jp/>

